

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人出雲市芸術文化振興財団	
施 設 名	出雲市民会館	
助成対象活動名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	9,290	(千円)
公演事業	4,500	(千円)
人材養成事業	4,364	(千円)
普及啓発事業	426	(千円)

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	出雲未来図活性化事業 第13回ファミリーコンサート	平成30年4月15日(日)	松下耕：信じる エルガー：威風堂々ほか 指揮：中井章徳、森山由紀美	目標値	550
		大社文化プレイスうらら館		実績値	570
2	出雲未来図活性化事業 出雲フィルハーモニー交響 楽団 第22回定期演奏会	平成30年10月14日(日)	ショスタコーヴィチ：祝典序曲ほか 指揮：中井章徳 ソリスト：タラス・デムチシン	目標値	900
		出雲市民会館		実績値	668
3	出雲未来図活性化事業 第6回出雲Jr. フィル・プロ ムナードコンサート	平成30年11月11日(日)	グノー：ミサ曲ハ長調 モーツァルト：交響曲第25番より第1楽 章ほか 指揮：中井章徳	目標値	550
		大社文化プレイスうらら館		実績値	417
4	出雲未来図活性化事業 出雲の春音楽祭2019	平成31年3月17日(日)	ドニゼッティ：愛の妙薬 平野一郎：交響神楽第四番、第五番 ほか 指揮：中井章徳	目標値	1,200
		平成31年3月24日(日) ビッグハート出雲 出雲市民会館		実績値	1,105
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	3,200
				実績値	2,760

(2) 平成30年度実施事業一覧

【人材養成事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	出雲未来図活性化事業 出雲芸術アカデミー講座 運営事業	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	芸術監督：中井章徳 音楽院教授：米山道雄、芦原充ほか 音楽院講師：木村恵理ほか	目標値	465
		出雲市民会館、 出雲交流会館ほか		実績値	416
2	出雲未来図活性化事業 アートマネジメント人材 育成事業	平成30年10月18日(木) 平成30年10月19日(金)	オペラ制作コース【実践編】 講師：唐谷裕子(演出家)	目標値	80
		出雲市民会館		実績値	54
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	545
				実績値	470

(2) 平成30年度実施事業一覧

【普及啓発事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	出雲未来図活性化事業 出雲フィルハーモニーアウ トリーチ事業「音楽と音楽 家の出前2018」	平成30年9月～ 平成31年2月	演奏者：出雲芸術アカデミー音楽 研究院研究員（芦原充、玉串直美 ほか）	目標値	1,650
		市内保育所、福祉施設等		実績値	1,416
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	1,650
				実績値	1,416

## 【妥当性】

### 自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

#### 1 ミッション

##### 出雲市ならではの芸術文化活動の促進

ほぼ計画通り実施でき事業評価でも高評価を得た。

##### 芸術文化を担う人材の育成

出雲芸術アカデミーを通し青少年の人材育成に寄与できたと考えている。  
また専門的人材の育成・確保を目的とする講座を実施した。

##### 市民主体の芸術文化活動の促進

文化施設やメセナ協会等と連携・協力し事業を進め、市民の文化活動への支援も行った。

##### 芸術文化の啓発

20か所の教育・福祉施設でアウトリーチ事業を行い好評を得た。

##### 貸館・管理運営事業の促進

大ホールの耐震工事、市民ニーズによるトイレの洋式化等出雲市民会館の充実を図るとともに利用者の安心安全のための管理運営に努めた。

#### 2 ビジョン

##### 「音楽のまち出雲」の推進

講座運営、各種コンサート及びアウトリーチ活動等多様な事業を教育機関、各種文化団体及び市民の参加・協力を得て取り組んだ。

##### 貸館・管理運営事業

前述の他、効果的な情報提供を行い利用者の利便性に寄与できるよう当財団のウェブサイトの刷新や公式フェイスブック等の開設をした。

##### 経営の安定化のための方策

国や市の負担金・補助金、特定費用準備資金、芸術アカデミー関係の個人寄附金等をもとに計画的に事業を推進するとともに専門的職員及び芸術文化活動の経験のある職員の計画的な採用・配置に心がけている。

#### 3 地域の特性・ニーズ等

##### 出雲ブランドを生かしたまちづくり

出雲ブランドによる情報発信も含め、出雲の春音楽祭で神話の国出雲の風土に密着した委嘱作品「連作交響神楽」に取り組んでいる。

##### 「音楽のまち出雲」の推進

音楽は出雲市民の誇るべき文化で、芸術アカデミーや教育機関、市民活動を通じ次世代に受け継がれている。

#### 4 施設の強み・特色

音楽事業を特徴として出雲市民会館と各地域のホールの特性を生かした各種事業を展開した。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

市民にすばらしい芸術作品に接する機会を設け、人材育成や学校・地域への働きかけを行うことができ当該助成の文化・社会的意義は大きかった。経済的意義を満たすにはは出雲ブランドを生かした取組が更に必要と考えている。

## 【有効性】

### 自己評価

目標を達成したか。

#### 1 公演事業

##### 目 標

どの事業も質の高い演奏を披露して当初目標を達成できた。出雲の春音楽祭は独自演出によるオペラや委嘱作品の世界初演等出雲オリジナルの取組みができた。

##### 指 標

入場者は出雲フィル定期演奏会が最も指標達成度が低い。市民会館改修のため例年の開催月を変更したことが影響したものと思う。顧客満足度、収益率はすべての事業で指標を達成できた（下記参照）。

なお出雲市芸術文化振興会議が行った事業評価でも高い評価を得た。

##### ファミリーコンサート

入場者103%、顧客満足度107%、収益率136%

##### 出雲フィル定期演奏会

入場者74%、顧客満足度110%、収益率133%

##### 出雲Jr. フィルコンサート

入場者75%、顧客満足度108%、収益率157%

##### 出雲の春音楽祭

入場者92%、顧客満足度106%、収益率117%

#### 2 人材養成事業

##### 目 標

講座は、アカデミー運営会議・企画会・講座運営会議等の計画的開催で、指導者の意思疎通を図り安定的運営ができた。また、指導者の意見を講座に生かすため指導者との個人面談を初めて行った。

アートマネジメント人材育成事業ではオペラ講座を実施し出雲の春音楽祭の成功につなげることができた。

##### 指 標

講座の指標はやや下回った（受講者。指標達成度89%）。子ども達の習い事の多様化や保護者の就労増加に伴う受講生の減少傾向があり、講座内容の見直しや無料体験講座の開講等受講生確保に取り組んでいる。

アートマネジメント人材育成事業は指標を下回った（入場者・参加者。指標達成度67.5%）が、参加者（出雲の春音楽祭出演者や財団職員）の知識・意欲の向上につながったものと考えている。

#### 3 普及啓発事業

##### 目 標

アウトリーチ事業は受入側の希望を取り入れる体制を確立し、より充実した内容で実施できた。また、アウトリーチ体験者にコンサートに来てもらい、劇場とアウトリーチ先の関係性を強化できた。

##### 指 標

アウトリーチ参加者とコンサート入場者の合計数は指標を下回った（指標達成度86%）。コンサートは初の企画であり集客の工夫が必要である。

## 【効率性】

### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。  
 アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

公演・人材養成・普及啓発の事業を、出雲芸術アカデミー講座運営事業を軸に展開。各事業の期間・事業費はおおむね適切であったと考えている。

#### 1 公演事業

##### ①ファミリーコンサート

出雲芸術アカデミー受講者の1年間の集大成を披露できた。

##### ②出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会

オーケストラセミナーを実施し質の高い演奏ができた。事業費減の理由は、出雲市民会館改修により例年の実施時期を変更したことで出演者が減少したため。

##### ③出雲Jr. フィル・プロムナードコンサート

出雲芸術アカデミーの子ども達を中心にした単独公演。支援の会寄付金も活用した。

##### ④出雲の春音楽祭2019

公募による市民参加型の音楽祭。練習日程を工夫するなど質の高い演奏となるよう努めた。

#### 2 人材養成事業

##### ⑤講座運営事業

公演事業とリンクさせ、指導者や受講者が意欲的に音楽に取り組める環境を創出できた。事業費減の理由は、複数の指導者が個人的な理由で長期間不在となり人件費等が減少したため。

##### ⑥アートマネジメント人材育成事業

「出雲の春音楽祭2019」に向けて実践的なオペラ講座を開講し機運醸成につなげた。事業期間を出演者の公募に合わせて調整した。

#### 3 普及啓発事業

##### ⑦アウトリーチ事業

アウトリーチ先の参加者に鑑賞してもらうコンサートを初めて実施した。事業費増の理由は、入場者増を見越して会場を大きなホールに変更したため。

事業	当初事業期間	確定事業期間	予算	決算
①	H30. 4. 15 (日)	同左	1,154,000円	1,152,639円
②	H30. 10. 14 (日)	同左	3,078,000円	2,349,304円
③	H30. 11. 11日 (日)	同左	1,623,000円	1,550,353円
④	H31. 3. 17 (日) 3. 24 (日)	同左	7,201,000円	7,101,802円
⑤	H30. 4. 1~ H31. 3. 31	同左	17,526,000円	15,941,313円
⑥	H30. 12~H31. 1 (要調整)	H30. 10. 18 (木) 10. 19 (金)	218,000円	177,868円
⑦	H30. 7~H31. 2 コンサート H31. 2. 11 (月・祝)	H30. 9~H31. 2 コンサート H31. 2. 11 (月・祝)	1,094,000円	1,227,734円

## 【創造性】

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

#### 1 資源について

##### (1) キーパーソン

##### 出雲芸術アカデミー芸術監督（中井章徳）

芸術アカデミー創設以来、管弦楽に関して「音楽のまち出雲」を牽引してきている。第21回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位の名誉ディプロマ賞及び全部門の最優秀者に贈られるマスタープレイヤーズ大賞を受賞。このほか出身地倉敷市の芸術文化栄誉章や出雲市市民文化賞等を受賞。現在、京都市立芸術大学大学院博士課程作曲・指揮領域でさらなる勉学に励んでいる。現在43歳。

##### コンポーザー・イン・レジデンス（平野一郎氏）及びアーティスト・イン・レジデンス（唐谷裕子）

中井芸術監督の構想により、両者は出雲芸術アカデミーの事業に関わっている。両者の実績等は後程「出雲の春音楽祭2019」で記載。

##### (2) 出雲市民会館の建物設備

県内市町村では最大規模の施設で、迫りや仮設花道、また、所作台・松羽目、定式幕等を常備し、古典芸能をはじめ本格的な舞台公演ができる。2007年にロビー・ホワイエの増床等を行い来場者に親しみ易い空間となった。

#### 2 事業について

##### 公演事業

##### ファミリーコンサート

芸術アカデミー受講者の学びの成果を市民に示すことで、受講者の意欲向上及び受講者獲得を目指している。

##### 出雲フィルハーモニー交響楽団定期演奏会

「学ばなければレベルの向上はない」という芸術監督の考えのもと、出演者は芸術アカデミー受講者やオーケストラセミナー（3日間）の一般参加者からオーディションで決めている。

##### 出雲Jr. フィル・プロムナードコンサート

合唱・オーケストラが一体となった作品に挑戦するなど、子ども達の成長を市民にアピールし感動を与えている。

##### 出雲の春音楽祭2019

平成28年度から、神話の国出雲の風土に密着した作品として平野一郎氏に委嘱した「連作交響神楽」（全構想9作品）の上演を行っている。平野氏はNHK「スーパーハイビジョン8Kドキュメンタリー《落慶～奈良・興福寺～》」の音楽などで注目を集めている作曲家。「連作交響神楽」は平野氏が「ライフワーク」と位置付けるもので、大規模なオーケストラや合唱団による独創的な作品であり、この作品に取り組むことで、出雲の芸術文化活動の全国への情報発信が進むことを期待している。また、総合舞台芸術の取組として、「音楽のまち出雲」を彷彿させるオペラ上演を目指し、大阪音楽大学等の講師などに就任している気鋭の演出家唐谷裕子氏のもとでオペラハイライトの継続上演を実施した。

##### 人材養成事業

##### 講座運営事業

幼児から社会人までを対象に年間を通じて管弦楽、合唱、邦楽等の音楽講座を行い、その成果発表として出雲市民会館を中心に各種コンサートを実施している。また、指導者（約30名）も年間を通じて行う学術研究会等に参加し学んでいくことが、その条件となっている。

##### アートマネジメント人材育成事業

出雲の春音楽祭でのオペラ上演に向けて「オペラコース」講座（講師は唐谷裕子氏）を開催した。

##### 普及啓発事業

##### アウトリーチ事業

一方的ではなく双方向の関係を生み出すためアウトリーチ先の参加者に鑑賞してもらうコンサートを初めて実施した。



## 【創造性】

### 自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

「音楽のまち出雲」は、以前より人口に膾炙していたが、平成22年度の「出雲市芸術文化振興指針」で正式に位置付けられ、その際、芸術アカデミーは出雲の音楽活動の推進役として位置付けられた。芸術文化振興施策を協議する出雲芸術文化振興会議の事業評価において、芸術アカデミー関係事業は高い評価を得ている。

情報発信の新たな取組として、昨年度は財団ウェブサイトの刷新や、それに伴う財団の公式フェイスブック及びツイッターの開設、また、芸術アカデミーだよりの発行等を行った。

創設以来の本科（小学生から高校2年生）終了生は140名近くとなり、プロのプレーヤーとして活動している者や、県内の小・中・高校の教師や芸術アカデミーの講師として、地元の音楽振興に寄与している者も増えている。また出雲フィルハーモニー交響楽団の演奏会に修了生が多数出演するなど、芸術アカデミーの成果は着実に表れている。

## 【持続性】

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

#### 人事戦略

人事異動を通じて、劇場・音楽堂等の機能強化に資する事業運営のノウハウを他職員に伝え、その層を厚くしていく。

#### 正規雇用率

この5年間の推移は約60%で、数値が低下しないよう努めている。

#### 人材配置、組織内部でのキャリアパス

芸術文化振興部の管理職は3名と財団組織では最多であり、芸術文化振興部係長経験者を同管理職に昇任させている。また、令和元年度は芸術アカデミー経験者を新規採用し芸術文化振興部に配置した。

#### 劇場・音楽堂間のネットワークの形成

出雲Jr.フィルの交流演奏会を県内外の劇場と実施している（H27島根芸術文化センターグラントワ。H29東広島芸術文化ホール）。また、スキル向上の取組として、人材養成交流事業のなかで、当財団職員を先進施設（千葉県文化会館等）に派遣し、ノウハウの吸収やネットワーク造りに努めてきた。また、アートマネジメント人材育成講座の実施や島根県民会館の県内アーティスト発掘公演との協働などにおいて人材の育成に努めている。

#### 教育機関とのネットワーク形成

出雲の春音楽祭の公演に市内中学校から多くの生徒が参加している。また、市内小中学校も対象としてアウトリーチ事業を展開している。なお、昨年初めて出雲市教育委員会管理職から芸術アカデミー推進委員が選出された。

#### 安定的な収益基盤と財源確保の取組

出雲市から指定管理料のほか、ソフト事業に対して出雲総合芸術文化祭事業に負担金、出雲芸術アカデミー事業に補助金を受けており、財団及び芸術文化事業の安定的な収益基盤となっている。

#### その他の資金の種類

出雲Jr.フィルの活動に対して支援金制度を設けており、この数年の金額等は、H28（400千円、121件）、H29（274千円、94件）、H30（240千円、90件）である。

#### 資金調達の手段

出雲芸術アカデミー講座運営事業では、高額にならないよう配慮しながら受講料を徴収し、その運営に充てている。